大阪学院大学「第4回ビジネス・チャット」開催

ビジネス・チャットの様子

西山大阪学院フェニックス倶楽部代表幹事
実学に触れる場
起業家や実業家から生の意見を

大阪学院大学（大阪府吹田市）はこのほど、同大学出身の企業家・実業家から直接生のビジネススキルを学ぶ第4回「ビジネス・チャット」を行った。

このビジネス・チャットは若くして経営者となった卒業生を数多く輩出している同大学ならではの取組みでビジネス社会を生き抜くために役立つ実践的な能力を身につけるのが狙い。

チャット（雑談）方式で気軽に企業経営者の生の声を聞けるのが魅力。

ビジネス・チャットの講師を務めた同大学ＯＢの西山進・西山寛商事社長（大阪学院フェニックス倶楽部 代表幹事）は、この取組みの特徴について「大学の授業ではいろいろな理論を教えていますが、理論をただ学ぶだけでは、激しく変化するビジネス社会を生き抜くことはできません。ビジネス・チャットの良さは、理論の勉強に加えて、学生が普段接することのない経営者の考え方や、生きていく上で重要となる様々なスキルを学ぶことで、より現実に即した学問、すなわち実学に触れる機会を提供することにあります。私たち大阪学院フェニックス倶楽部は、このような大学側の趣旨に賛同し、卒業してから得た経験やスキルを、後輩たちのために役立てたいという一心で、毎回大学に足を運んでいます。今後の目標は、大阪学院大学＝ビジネス・チャットとなるように、他大学と一線を画すようなプログラムとして、広く世の中に浸透させること」と語った。

経営学部経営学科2回生の学生は「毎日目標を設定し、昨日の自分に勝つことが大切であるというお話が参考になった」、経営学部ホスピタリティ経営学科3回生の学生は「ＯＢの方から学生時代や卒業後などのお話を聞き、今後の自分に生かしたい」と満足そうだった。

学生に熱く語る西山進社長（大阪学院フェニックス倶楽部代表幹事）